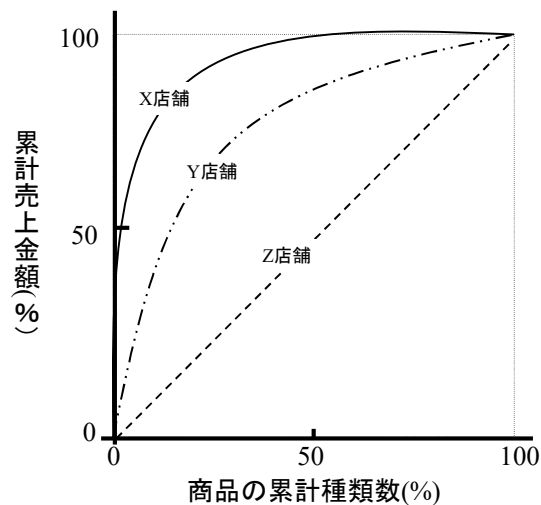
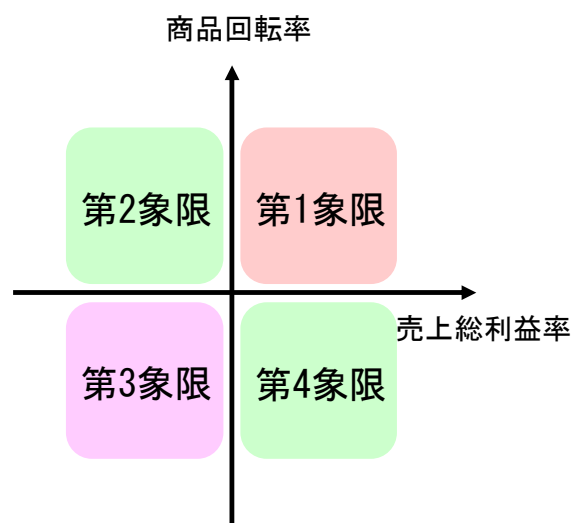


物流管理工学 レポート課題 2

- 問題 1 商品进行分类する方法として、ABC 分析や EIQ 分析がある。在庫管理を行う場合、これらの分析方法を用いて商品进行分类し、分類毎に管理を行うのが有効と言われている。この理由について説明しなさい。
- 問題 2 ある企業では、同じ商品を取り扱っている店舗を全国に 3 店舗持っている。店舗毎に ABC 分析を行ってパレート図を描いたところ次の図に示すように店舗毎に異なる曲線を示した。Z 店舗において、各商品の売上額はどのようにになっているのか説明しなさい。



- 問題 3 下記の図は、商品回転率と売上総利益率から商品を 4 つの象限に分類したものである。図中の第 2 象限に該当する商品を対象とした改善内容について説明しなさい。



- 問題 4 一定の増加傾向を示している需要に対して、移動平均法を用いて需要予測を行ったところ、常に予測値が実績値より小さい値となった。この理由について説明しなさい。

問題 5 ある飲食店では調味料の発注に発注点法を用いている。下記の条件の場合における 9 月 10 日から 20 日までの手持ち在庫量の変動を図示するとともに、下記の①と②について説明しなさい。なお、解答では安全在庫量と発注点の計算過程ならびに計算結果も示すこと。

①：発注点について説明しなさい。

②：需要の平均や標準偏差が大きく変化した場合の対応について説明しなさい。

需要の平均 20 個/日、標準偏差 2 個/日

調達期間：4 日

欠品率：10.565 %

発注量：100 個

9 月 10 日期末在庫：手持ち在庫 140 個、発注残 0 個、納入残 10 個

なお、納入残は 9 月 11 日に顧客に納入され、11 日以降には生じないとする。

9 月 11 日から 20 日までの需要量の実績

期日	需要(個)	期日	需要(個)
9月11日	25	9月16日	20
9月12日	20	9月17日	20
9月13日	20	9月18日	20
9月14日	20	9月19日	20
9月15日	20	9月20日	20

以上